

文部総会のご案内
年7月4日(土)午後5時
外(〇四六二六)一一二九)

[illegible]

分割授業・授業実演

相中の英語に岡倉賞

野球優勝の号外

[illegible]

湘南高堂々優勝す

七上牛後子國で行われた全日本高校対決総戦は、本郷隊が浦潮高
校に劣るに至って行方不明になる。浦潮高校は早稲科、本郷隊は
一般科の二部制で、なかまたは浦潮高に現れるには慶應普通部の
第二大会社のかた二回、実に三十年ぶりのことである。

浦潮高 000 102 020 25

5 対 8 帳高を破る

紅という。33年ぶりに、深
紅の大像勝負が相手を越える
とあって、神奈川新聞は号
外を発行した。

藤沢市はアチは建てた
かつた。原則的にアチの建て

思い出の校舎

[illegible]

昭和18年の
湘友会総会通知

春原先生秘蔵の一つ、9 cm、14 cmのザラ紙、2銭ハガキ。昭和18年の総会通知、輸送委員會の困難と、学校側も勤務作として承けたるに理由に「本年も中止取止のむなみに至り候會長、赤木愛太郎、幹事長、天野武一名で出されている。昭和18年の総会から、幹事長制をとるようになった。此の天野君にこの葉書を見たら、先生特有の大眼玉で、うーんとなつて、憶えがちなあ。

整備された赤木苑

初代校長設計士大田先生
専修は建築設計が相次ぐに
ついでに、製図は芸
教団関連一先生に依頼し
の見聞の探検は、堀子・洋
右長である。日本橋の文
石丸に建立した、除幕
は、29年2月10日、あい
のくみぞれの中で、受意
大君の手によって幕が除
見事な青銅の像が除

本校校舎が調話
を翻つて、山梨県
を配し、山梨県
の山石に組み
専修前に、田講
堂入口の花崗石
で、玉砂利
敷きとし、面目
を一新した。

昭和6年秋、拡張成った校庭で全校校
東海道線までも何もなくた。

40周年式典後の湘友会祝賀会

就事を経て、40年10月中絶の苦
 典が行われた。増田P
 A会長に代わり、元副委員
 大田、天清友成、長岡副委員
 長と併せて準行した。
 この典には、久しぶり
 に増田先生（元常務委員
 浦原に任） 元副委員増
 大田、先生 元数学科教
 小清水先生（郷里の手紙に
 長任して、盛岡高校で教
 長らの方針高く、数

だ、古くは業生をばせ
 田国書館の祝賀のあり、
 淵友成の二式を角角
 宛て直し、田師をばせ
 写便し、増田、鈴木
 一先生、松川前校長、大
 大田、増田先生、皆故人
 した。向う開会者、増
 原、天清、井井、伊田
 君、天君、共に、同生
 である。この会は今な
 い（現在アイル百貨店）

定時制の
謝恩会
(昭.40.3.1)

からす森会（9回生同期会）

[illegible]

佳良翼森

牙五号

潮友会第九期生会誌

益
 益になる
 の入った
 を通る。
 そばに居
 は弁当

[illegible]

